

世界遺産 登録を目指して (4)

今回は先月に引き続き第2講「奥州市の中の『平泉の文化遺産』」の内容を紹介いたします。

○奥州市域は「境界地帯」

岩手県南部地方は、歴史の各時代を通じて、異なる文化・伝統の「境界地点」でした。そのため、南方（西方的文化の影響が強い時代）もあれば、逆に、北方的な文化が色濃い時代もありました。角塚古墳（胆沢区）と中平入遺跡（水沢区）、瀬谷子窯跡群、さらには続く安倍氏・清原氏、奥州藤原氏などは「境界地帯」であるがために生まれたものです。

○平泉の文化遺産の3つの性格

平泉の文化遺産の中心であるコアゾーン（核心地域）に存在する寺院と史跡群にはその性格から、次の3つに分類できます。

①「前」平泉文化期―藤原氏に先駆けて地方権力を確立した安倍氏・清原氏時代の遺跡（本市の長者ケ原廃寺跡と白鳥鋳遺跡）②平泉文化期―奥州藤原文化の精髓を示す寺院や史跡群（平泉町の中尊寺・毛越寺・柳之御所など）③農村の遺跡―骨寺村荘園遺跡（一関市）。



本年度発掘調査をした衣川区の接待館遺跡

なつたいま、奥州市民には、それらを世界遺産の一部として研究・顕彰・発信することが求められています。具体的にはまず、市民一人一人が平泉の文化遺産について学び、その「語り部」になることを目指しましょう。

（文・駒岩手県文化振興事業団埋蔵文化センター所長 相原康二氏）

◇第2講開催日程

■開催日時 【会場】前沢ふれあいセンター：8月24日（日）、衣川歴史ふれあい館：8月31日（日）（両会場とも時間は午後1時半から3時まで）

■申込先 前沢支所生涯学習課 ☎7100、衣川支所生涯学習課 ☎3111（内線513）

平泉観光ガイド講習受講者募集中!!

◇開催日程：8月29日（火）9月14日（日）（10日間）◇開催場所：平泉商工会館◇募集対象：高齢求職者（60代前半を中心）◇募集人数：20人◇受講料：無料◇申し込み方法：8月18日（金）まで平泉町シルバー人材センターに申し込む◇問い合わせ・申込先：同センター ☎0191-1108

子育て世帯への 経済的な支援

ここが 5市町村が合併
聞きたい したことにより、

子育て世帯への経済的支援が拡大されたこと聞きました。その内容について教えてください。

お答え

今回の合併で、旧市町村で実施されていた独自の制度が奥州市の制度になったことにより、子育て世帯への経済的支援が拡大しています。詳しくは次のとおりです。

▼保育料世帯内第3子以降無料化

世帯内の3番目のお子さんから、公立、私立を問わず保育所（園）、幼稚園の保育料が無料になりました。また、幼稚園の入園料も同様に無料となりました。

【問い合わせ】保育所（園）：各総合支所福祉課（健康福祉課）、幼稚園：各支所学務課

▼乳幼児医療費助成

出生の日から小学校に就学する前（6歳に達した日以後の最初の3月31日まで）のお子さんの医療費を助成します。なお、医療費の助成を受けるためには、受給者証の交付を受けることが必要です。

【問い合わせ】各総合支所健康増進課（健康福祉課）

▼チャイルドシート購入助成

チャイルドシートを購入した際、親権者または後見人の申請により、購入費用の2分の1か1万円のいずれか少ない額が交付されます。

【要件】

①チャイルドシート購入時および補助金交付申請時に市内に住所を有すること

②補助金交付申請時に満年齢が3歳未満であること

③過去にこの補助金の交付を受けたことがないこと

【問い合わせ】各総合支所生活環境課



地域安全情報



窃盗被害予防のポイント

■車内に物は置かない

ことし1月から6月までの車上狙い被害は、水沢署管内で64件、江刺署管内で2件あり、うち38件（57%）が施錠していませんでした。すぐ済む用事だからといって、鍵を掛けないで車を離れるのはとても危険です。

■確実な施錠と防犯用具

窃盗犯のねらいは主に現金ですが、それだけにとどまりませ

ん。パソコン、保険証やパスポート、電化製品など何でも盗んで換金してしまいます。また、見知らぬ人間に家を荒らされたという精神的な不安感も見逃せません。

玄関や窓から侵入するケースが多く、ガラスを破るか、鍵が掛かっている出入り口や隠してある鍵を見つけて押し入る場合もあります。留守にする時や寝る前は、すべての出入り口、高窓や集合住宅の上階のベランダなども忘れずに鍵を掛け、合鍵は置かないようにしましょう。防犯対策として、鍵はピッキング（特殊な器具を使い開錠すること）に強いものに替え、複数個付ける。窓ガラスなどは強化ガラスに替えたり、防犯フィルムなどを張って強化したりするとよいでしょう。

おえ気ですか 市長です！



奥州市長
相原正明

に、座は一瞬静まり返り、何ともいえない緊張感が走りま

す。

7月10日から市内5区で行われた同懇談会的一幕です。各会場では数十人から百数十人の参加者で熱気あふれる中、

約2時間にわたって活発に質疑、意見交換が行われました。「なぜ、新市建設計画があるのに総合計画を新しく策定するのか」「夕張市のような財政破綻の心配はないのか」「道路や橋など旧市町村時代からの切実な要望は、受け継がれていくのか」「小学校統合と新校舎建設の見通しはどうか」「旧5市町村が対等・平等に発展しているかを検証すべきである」などたくさん寄せられました。

ある子育て中の母親からは「子育て環境ナンバーワンづくりについて、意見を述べる場を設けてほしい」と要請され、承諾しました。

いただいたご意見を着実に市政に生かしてまいります。

お元シピ

地産地消応援メニュー⑤

まんてんの星



材料（10人分）

ハトムギ粉……………200g

上南粉……………120g

薄力粉……………50g

上白糖……………220g

ガルギール……………50g

くるみ……………30g

スキムミルク、黒ごま…各大さじ2

牛乳……………300cc 強

作 り 方

- ①ガルギールはゆでてから固くしぼり、細かく刻んでおく
- ②ハトムギ粉と薄力粉は2回ふりにかける
- ③ボールに上南粉、スキムミルク、刻んだくるみ、ごまを入れてあらかじめ合わせておく
- ④鍋に牛乳と上白糖を入れて煮溶かし、弱火にして②をだまにならないように少しずつ入れ、練り合わせる
- ⑤鍋を下ろし、①と③を入れて手でこねる
- ⑥少しさましてから型抜きをする

わたしが作りました



桜田光子さん（71）
＝衣川区古戸＝
平成12年度県「食の匠」に認定

「まんてん」は栄養満点という意味で付けました。焼いて食べてもまだ違う風味を楽しめます。